[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 調 査 報 告 概 要 表

作成日　平成21年 3月2日

## 【評価実施概要】

| | |
|---|---|
| 事業所番号 | 1072000571 |
| 法人名 | (株)シー・アンド・エス |
| 事業所名 | グループホーム　あかぎ |
| 所在地 | 群馬県渋川市赤城町勝保沢732－1<br>（電　話）0279－20－7008 |

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | サービス評価センター　はあとらんど |
| 所在地 | 群馬県前橋市大友町　２－２９－５　コミューン100　１－B |
| 訪問調査日 | 平成21年1月28日 |

## 【情報提供票より】（ 20年12月25日事業所記入）

（1）組織概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設年月日 | 平成　15　年　4　月　1　日 | | |
| ユニット数 | 3 ユニット | 利用定員数計 | 27　人 |
| 職員数 | 23　人 | 常勤　20　人，非常勤　3　人，常勤換算　14.2　人 | |

（2）建物概要

| | |
|---|---|
| 建物構造 | 鉄筋　造り |
| | 3 階建ての　1 階　～　3 階部分 |

（3）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家賃（平均月額） | 70,000　円 | その他の経費（月額） | 持ち込み家電代等円 |
| 敷　金 | 有（　円） | 無（○） | |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有（　円）<br>無（○） | 有りの場合<br>償却の有無 | 有／無 |
| 食材料費 | 朝食　円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食　円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり　1，200　円 | | |

（4）利用者の概要（　12月25日現在）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者人数 | | 27 名 | 男性　8 名 | | 女性　19 名 |
| 要介護1 | | 3　名 | 要介護2 | | 4　名 |
| 要介護3 | | 11　名 | 要介護4 | | 5　名 |
| 要介護5 | | 4　名 | 要支援2 | | 0　名 |
| 年齢 | 平均 | 86.6 歳 | 最低　75 歳 | | 最高　102 歳 |

（5）協力医療機関

| | |
|---|---|
| 協力医療機関名 | 渋川中央病院・こすもすクリニック・永井歯科・青柳歯科 |

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人としての経験を生かした機能的なシステムが確立しており、特に個人のプライバシーを尊重した環境作りが徹底されているホームである。四季の移り変わりを肌で感じることができる環境の中、地域住民との交流も季節の行事を通して増やしていこうという姿勢が感じられる。今後は個人個人のかかわりを増やし、利用者と職員がともに支えあい共感し合える関係を強化したいとの抱負を持っており、活気ある雰囲気が高まることを期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

### 重点項目①

**前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）**

前回評価の課題については会議で報告し、法人管理部にも相談している。地域との付き合いや市町村との連携はホームとしての取り組みが生かされ改善結果が表れている。その他、地域密着型サービスとしてのホーム独自の理念・食事や鍵の取り扱いについては、今後もその意義を踏まえ検討を重ねていくことを期待したい。

**今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）**

自己評価は管理者が中心になって主任・チーフ・ユニットリーダーとまとめている。自己評価は業務の見直しや気づきとなるため、職員全体が何らかの形で関わることも必要と感じられる。

### 重点項目②

**運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）**

おおむね2ヶ月に1度の割合で運営推進会議を開催している。行政職員や地域の代表者・家族に参加してもらい、行事に合わせて開催し、意見交換も活発に行われている。

### 重点項目③

**家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）**

ホーム便りや面会時の報告の他に、年に1度はアンケートを行って家族の意見を把握しホーム運営に反映する努力をしている。今後は気軽にコミュニケーションのやり取りができる関係作りが期待される。

### 重点項目④

**日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）**

しめ縄づくりなどの季節行事や廃品回収などの地域の取り組みに参加しながら、地域住民との交流が根付いてきている。民生委員に声掛けし、見学などの受け入れ、ホームの理解を広めていこうとしている。

# 2. 調 査 報 告 書

（ 　 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項 目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ. 理念に基づく運営** | | | | | |
| **1. 理念と共有** | | | | | |
| 1 | 1 | **○地域密着型サービスとしての理念**<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 利用者の尊厳を重視し「その人らしく生きる」ことを理念に掲げている。日常的に地域住民とのかかわりを広げていこうという意識も高まっている。 | ○ | 新たに地域密着型サービスを意識した理念は掲げていないが、実際には地域とのかかわりを重視した取り組みも実践しており、職員それぞれの意識向上のためにも、地域密着型サービスとしてのホーム独自の理念を作り上げてみてはどうかと思われる。 |
| 2 | 2 | **○理念の共有と日々の取り組み**<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念は玄関や職員室に掲示し、全体会議や担当者会議・日々の情報交換の際に共有するよう努めている。 | | |
| **2. 地域との支えあい** | | | | | |
| 3 | 5 | **○地域とのつきあい**<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 廃品回収や防災訓練、正月のしめ縄づくりなどを通し、地域住民とのかかわりを深めている。民生委員にも声をかけ、見学の受け入れも行いホームの理解に努めている。 | | |
| **3. 理念を実践するための制度の理解と活用** | | | | | |
| 4 | 7 | **○評価の意義の理解と活用**<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 外部評価については申し送りで職員に説明し、自己評価は主任やリーダーと相談しながら管理者がまとめている。結果については全体会議で報告し、法人と相談しながら改善に取り組んでいる。 | ○ | 自己評価は業務姿勢や視点の見直し・気づきのきっかけになるため、全職員が何らかの形で取り組めるよう工夫してみてはどうか。 |
| 5 | 8 | **○運営推進会議を活かした取り組み**<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 家族の代表者・行政職員・地域の代表者が参加し、おおむね2ヶ月に1度の割合で運営推進会議が開かれている。夏祭りや防災訓練などホームの行事に参加してもらいながら理解を深めてもらっている。また意見交換では、率直な意見も多く出されている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携<br><br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市町村担当者とは会議以外にも気軽に情報交換ができる関係が築けている。 | | |
| 4．理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族には毎月ホーム便りを発行し、個別のコメントも付けている。また、面会時には生活の様子を直接伝えるようにしている。運営推進会議をはじめ、家族からの意見は多く寄せられている。 | ○ | 一つの意見はどの家族も共通する意見と捉え、個別に対応するとともに、ホームの取り組みを理解してもらうためにも、ホーム便りなどを利用してどのような意見が出され、どのような対応をしているかを家族に報告し、よりスムーズなコミュニケーションのキャッチボールができることを期待したい。 |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時や会議の他に年に1回はアンケートを実施し、家族からの意見を聞くよう努力している。出された意見は、管理者が職員に確認し、ホームとしても検討し改善している。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | ユニット間での職員の異動はあるが、日頃からの交流や夜間勤務の関係で顔なじみの関係が築けており、大きな混乱は特にない。 | | |
| 5．人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人の研修センターが中心になって介護の仕方や感染症などの研修を実施している。外部研修にも勤務表に組み込んで参加するようにしている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 連絡協議会をはじめ、グループホーム大会での発表や交換研修に参加している。他施設の良いところは研修や記録などを参考に取り入れていこうと考えている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （〇印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| 1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入所前には職員が訪問し、本人や家族・関係者と会い、情報交換をしている。さらに事前に見学も実施し、ホームの様子も見てもらうようにしている。 | | |
| 2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は、利用者の立場に立って考えるよう共通理解に心がけている。レクレーションでは一緒に楽しめる関係を作るようにしている。今後は一対一のかかわりを増やし、ゆったりとした時間の中で支えあいながら過ごせるようにしていきたいと考えている。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| 1．一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の思いは、会話や表情を通して受け止めるようにしている。また、家族とも相談しながら把握するようにしている。リハビリ意欲の高い利用者には個別のメニューを組み実施している。 | | |
| 2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 日頃の職員の気づきや家族・本人の意見を取り入れながら、ケース会議で検討し、介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画は3ヶ月に1度は見直している。状態が変化しているときは、その都度見直しをしている。モニタリングは3ヶ月に1度実施している。 | ○ | モニタリングは、利用者の状況把握を踏まえ、月に1度は実施していただきたい。 |

| 外部 | 自己 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| ３．多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人・家族の意向に応じて医療機関への受診や買い物の支援を行っている。 | | |
| | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | それぞれの希望に応じたかかりつけ医に受診できている。その他に内科医と訪問看護が週に1度来所している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方については、入所時に説明し、納得してもらっているが、具体的なことはその都度医師の意見を交え、家族と話し合っている。 | | |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**<br>１．その人らしい暮らしの支援<br>（１）一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | プライバシーを重視した対応や体制が徹底されている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ゆったりとした静かな環境の中で生活ができている。今後は一対一の対応を増やし、その人らしい時間が過ごせるようサービスを提供していきたいと考えている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （〇印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| （2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 〇食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 法人の方針で、検食は実施しているが一緒に食事をとってはいない。準備や後片付けは状況に応じて利用者にお願いしている。 | ○ | 一緒に食事を味わうことで量や味付けについて共感が生まれ会話や思いの把握につながると思われるため、できる部分からの検討を期待したい。 |
| 23 | 57 | 〇入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週3回入浴日を設けている。希望者には毎日支援ができるよう検討したいとは考えている。 | ○ | 業務体制を検討しながらの改善を期待している。 |
| （3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 〇役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食器洗いや習字・植木の世話など、役割分担がされている。楽しみ事は担当者が中心になって週や月の計画を立てている。 | | |
| 25 | 61 | 〇日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常的な散歩の他に、月に1度は外食の機会を設けたり、地域の行事や買い物に外出している。 | | |
| （4）安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 〇鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室には鍵はかかっていないが、各ユニットの玄関には常に鍵がかかっている。 | ○ | 建物の構造上の課題もあるが、鍵の弊害も学習し、鍵のかけない時間帯の導入なども検討してみてはどうか。 |
| 27 | 71 | 〇災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 地域の自治会長にも協力を依頼し、年に2回は防災訓練を実施し、記録に残している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （〇印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| （5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | **〇栄養摂取や水分確保の支援**<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養摂取状況や水分摂取状況は表でチェックしている。 | | |
| 2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>（1）居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | **〇居心地のよい共用空間づくり**<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 供用のスペースも広々としており、廊下や窓際にくつろぎのスペースを設け、居心地良く過ごせる工夫がされている。ユニットごとに個性ある空間作りがなされ、季節感も取り入れている。 | | |
| 30 | 83 | **〇居心地よく過ごせる居室の配慮**<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者が過ごしやすいよう思い思いの家具を持ち込んだり、装飾したりとそれぞれの工夫が感じられる。 | | |